2017 年

日本語教師ボランティア　その６（ベトナムの列車）

土曜教室　小林　保

首都ハノイからホーチミンまでの 1726km を結ぶハノイ－サイゴン鉄道は、「統一鉄道」と呼ばれ、南北統一のシンボルとして親しまれています。高速化されたとはいえ、単線のためハノイとホーチミン間で 29 時間 30 分もかかり、ビジネスで利用する人は殆どなく、もっぱら利用者は外国人を含む観光客と一部の地元住民のようです。寝台車と一般座席の十数両からなり、車両はかなり古いです。雑誌、インターネットなどでよく紹介され、以前からこの車両に乗車してみたいと思っていました。

10 月 7 日、サイゴン駅発 9：00 の列車に乗り、隣町ビエンホアまで行って来ました。出発して 25 分程の間、窓から見える景色は住宅街でホーチミンが大きな都市であることを実感させます。景色が牧草地に変わり暫くするとビエンホア駅に到着しました。約 40 分の行程で距離は東京駅から八王子駅程です。片道：30,000 ドン（約 150 円）で座席指定であるから日本の JR に比べたら格段に安いです。

サイゴン駅

サイゴン駅ホーム

車内（実物は写真より汚い）

車窓から見るホーチミン郊外は
中心部に比べ少し粗末な家が多いようだ

ビエンホアは人口 80 万人の都市と聞いていますが、寂しい駅前通りです。車は少なく、ホーチミン市内のようなバイクの洪水はない。市内を歩いて探索すると予想に反し比較的きれいな住宅もあり、日常生活に必要なスパー、レストラン、病院なども揃い、住みやすい街のように感じました。きっとアパートの家賃も安いでしょう。ビエンホア駅の近くに住み時々、ホーチミンに通う生活もいいと思います。

ビエンホア駅構内

駅前通り（車もバイクも少ない）

ピザハウス

車の少ないロータリ

更に、街を歩くと寺院、霊柩車などが日本のものとかなり異なり、興味を引きました。
人口 80 万人の都市にしては車が少なく人も少ない。
サイゴン川の岸辺にある食堂でベトナム風焼きそばを食べ、ビールを飲みました。

霊柩車

寺院（仏教寺院と思われる？）

サイゴン川に架かる鉄橋

岸辺の食堂から見た鉄橋

日中は殆ど列車が来ないため、線路脇で
自転車を引いたおばさんがいた。

ビエンホア駅のホーム